

1. 評価結果概要表

作成日 平成 19年 4 月 20日

【評価実施概要】

事業所番号	1271400333		
法人名	(有) ウイズケア		
事業所名	グループホーム あすなる		
所在地	〒287-0041 千葉県香取市玉造 483-2 (電話) 0478-55-8817		
評価機関名	特定非営利活動法人 日本高齢者介護協会		
所在地	〒113-0021 東京都文京区本駒込 3-15-10		
訪問調査日	平成19年3月23日	評価確定日	平成19年4月20日

【情報提供票より】(平成 19年 2月 20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16年 11 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤 5 人, 非常勤 5 人, 常勤換算	7.2

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	1 階建て	1 階 ~	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000~50,000 円	その他の経費(月額)	0 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(150,000 円)	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	200 円
	または1日当たり			円

(4) 利用者の概要(2月20日現在)

利用者人数	9 名	男性	5 名	女性	4 名
要介護1	3 名	要介護2	3 名		
要介護3	2 名	要介護4	0 名		
要介護5	0 名	要支援2	1 名		
年齢	平均 85 歳	最低	51 歳	最高	92 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	坂本医院 大栄病院 小倉歯科医院
---------	------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<ul style="list-style-type: none"> ・南向きで日当たりが良く、周囲の自然環境も良い立地の明るいホームです。 ・家庭的雰囲気、「そのまま暮らし、共に生きる」ことをモットーに、きめ細かいサービスに努めています。
--

【重点項目への取組状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>改善課題である地域とのつきあい・働きかけは、かなり改善されて来ています。又、職員を育てる取組に関しましては、問題意識を持たれ熱心に取り組まれております。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取組状況(関連項目:外部4)</p> <p>業務連絡の徹底・社内研修ノートへの読後サインの徹底等改善に取り組んでいます。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議を1回開催し、ホーム立ち上げの根拠・介護保険法の状況・運営方針等を説明し、関係者の理解と協力をお願いしています。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族会や面会時に家族の意見を聞き、運営等に取り入れるように努めています。</p>
重点項目③	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会に加入し、各種行事に積極的に参加したり、近所の保育園の運動会に参加しています。</p>

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	人格を尊重し、利用者の立場に立ったサービスの提供に努め共に生きるという理念を掲げています。	○	地域密着型サービスとしての理念も掲げられることを期待します。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を、リビングルームと職員の休憩室に掲げ、問題が起きる度に、理念に立ち返り解決を導き出しています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し会合には必ず出席しています。年2回のあすなろまつりには、町内に回覧を廻したり、看板を立てたりして来訪を促しています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	業務連絡の徹底・社内研修ノートへの読後サインの徹底等、改善に取り組んでいます。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホームの立ち上げ根拠・運営方針・介護保険等を説明し、理解と協力をお願いしています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市主催のケアマネ連絡会・認知症介護研修・認知症ケア考える会・グループホーム連絡会等に参加しています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会に来られる家族には面会時、来られない家族へは毎月利用料の請求時に様子を手紙で伝えています。金銭はお預かりしないで、立て替え金の請求を領収書を添えてお願いしています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の面会時や、運営推進会議等で家族の意見を聞き、運営に反映するよう努めています。	○	家族へアンケートを実施され、幅広く家族のご意見・要望を聞かれ、運営改善に役立てられることを望みます。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	交代時に、事前に本人に伝えています。職員の交代は1名ずつとし、利用者との接触が少ないポジションから入り徐々に慣れて頂けるよう努めています。又、利用者との相性を考慮して担当を考えています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修を毎月実施しています。又、社外研修に参加できるよう費用(研修費と交通費)を会社で負担し、促しています。	○	段階に応じた研修計画を作成し、研修を実施されることを望みます。サービスのマニュアルを作成して、質の向上に努めることを期待します。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内のケアマネジャー連絡会・グループホーム連絡会・認知症ケアを考える会に参加・学習しています。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	職員が利用者の家族宅を訪問し、パンフレットや写真を見せながらコミュニケーションを図り、安心してサービスを受けられるようにしています。1回の訪問で不十分な場合には2回訪問する場合があります。	○	現在の支援を継続されると共に、あすなろ祭りに参加して頂くとか、日頃のあすなろを見て馴染んで頂くこと等を取り入れられることを望みます。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	家族又は友人のような関係を会話の中に取り入れたり、先輩として野菜の作り方を教えてもらったり、東京の生活が長かった人には東京の話をしてもらう様な会話を多くするよう心がけています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎日の話、態度、食事の摂取量、拒絶の状況等で、思いや意向を把握しています。朝夕の申し送りや月1回のミーティングで職員全員が共有できるようにしています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	一同に集まることがなかなか難しいため、介護計画作成者である管理者が各々の意見を聞いて介護計画に役立てています。	○	家族・本人、1名以上のスタッフ、介護計画作成者が加わるようなチームで、利用者本位の介護計画が作成されることを期待します。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間に応じた見直しは必ず丁寧に行なわれています。見直し以前の変化への対応は、時間をかけてきちんと行なわれています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	あすなる祭りに参加して、グループホームを知ってもらい要望も出してもらえるような体制をとっています。しかし、参加者が少ないために、十分に活かせていない現状です。		現在の支援体制を広げて、利用者家族だけでなく、広く市民に開放されたグループホームとして、自宅で暮らす人に対しても相談にのってあげられるような支援体制を期待します。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ご本人・ご家族の希望により、提携医以外の医療機関にかかっている方も、その医療機関と連携をとって、利用者の健康状態の把握に努めています。</p>		
19	47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>当グループホームで終末を迎えたいという方の意向を出来るだけ尊重したいと思っています。主治医の往診、家族の協力、職員のシフトがうまくいって、昨年7月に1人当ホームで終末期を過ごされお見送りすることが出来た例もあります。</p>		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>言葉かけは慎重にしていねいに行われています。記録への個人情報の記載については、もっと改善していきたいと取り組んでいるところです。</p>		
21	52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>食事、おやつ時間はほぼ決まっており、一堂に集って摂っています。朝起きれない人には起きた時点で提供しています。調査に伺ったときも、家に帰ると言って忙しく片付けをしている方がいましたが、その方が落ち着かれるまで急かすことなく待ってから食事を提供されていました。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	10時と3時のおやつの際に昼食・夕食の希望を聞いて献立を立てています。ホームの菜園でも野菜を作って、季節のものを出来るだけ取り入れています。その時々利用者さんの状況を見ながら食材の準備、食器の片付け、テーブル拭きなど一緒に行なっています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	隔日に入浴できるように準備されています。2時頃から入れるようにし、長く風呂に入っていない人から声かけしていますが、本人の希望がある場合は希望に合わせています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯たたみ、調理、床拭きなどそれぞれにやりたいことをやらせてもらっています。毎日散歩を日課にしている人には歩きたい人を募って一緒に歩くようにしています。お祭り好きな人には時々祭りのビデオをかけ、他の人も一緒に楽しんでもらっています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩好きな人を中心に雨の日以外は散歩を行なっています。また若い方で安定している方には障害者の作業所へ週2回通所の介助をしています。お祭りにも幼稚園の運動会にも希望者を連れて行っています。	○	障害者の作業所が遠く職員の負担も大きいと思われる。近くにも作業所があるのなら市と話し合っ、長期に支援できるような体制を整えられるよう期待します。
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員で、日中は鍵をかけないよう繰り返し確認しあい、利用者が外へ出られることがあったら付添う介護をしています。近くの美容室には、見かけたら声かけ・連絡を依頼しています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	町内会等に参加したり、イベントを開いて近隣の方々との交流を図っています。しかし、まだ災害時に協力を依頼する関係が出来ていません。	○	ホーム又は町内会から消防避難訓練を消防署に要請・実施され、地域の方の理解と協力を頂けるよう期待します。又、災害対応手順の掲示と非常用備蓄(水等)を望みます。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の状況を把握し、嫌いな食品は代替のものを提供し、歯の無い方には刻むなどの支援をしています。水分は1日1,600ccが取れるよう食事中・おやつで支援しています		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	自然環境に恵まれ、南向きで日当たりも良く、前庭には野菜畑とお花畑があります。建物内は、季節の花・絵・写真等が飾られ、照明は家庭的な雰囲気を出すため、電球色を使用しており、居心地の良い共有空間が作られています。	○	事務室と職員の方々のロッカー室を分けることの検討が望まれます。
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた物(小タンス・籐椅子・小机・写真等)を持ち込んだり、携帯用便器が常備されています。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。